

あたたかな交流のはじまり

南国市青年市民会議・岩沼市訪問レポート 最終回

翌日(二月二十三日)の岩沼市の視察では園芸、歴史、文化、産業とそれぞれの一端を知ることができ、岩沼の方々の日程を組まれたご苦労を思

いました。竹駒神社をはじめ市民会館、陸上競技場、飛行場、大昭和製紙等々どれをとってもすべてにおいて私たちの南国市のレベルを上回っているのには驚きとつらやましさを隠せませんでした。



岩沼の方々とともに竹駒神社を訪問

果たして南国市に全国に誇れる文化施設はあるのか、整備された歴史的観光施設はあるのか、飛行場から国際便が定期就航するのはいつになるのか等々…。

全国第二のシェアを誇る大昭和製紙の岩沼工場見学はめったにない機会、地方新聞紙のほとんどがここで作られ、その製



大昭和製紙岩沼工場

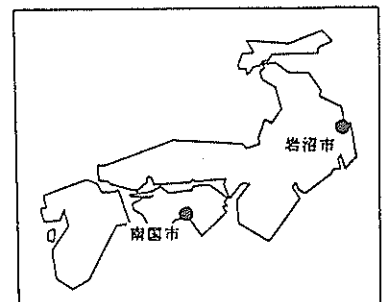
造工程など多くの知識を得ることができました。公舎の面には特に力を入れ、昔からい

えば排水や大気など公害防止技術は格段の進歩をとげているようです。しかし、二十四

時間休みなく機械が稼働し、騒音、熱、におい、大量に吐き出される煙など市民側からすれば問題がないとは言

い切れません。広大な敷地に立つ工場は市の中心産業であり、地元雇用が六割、市税が横浜ゴムと合わせて十億円と聞いたとき、やはり自主財源の貴重な存在であるという思いと「公舎」の二文字が頭

岩沼市



岩沼市は宮城県都の仙台市と隣接し、東北の空の玄関仙台空港を持つ交通の要衝地です。ともに県都に隣接した空港都市・田園産業都市として市勢が似ていることから昭和48年7月23日に姉妹都市の縁を結びました。